漁船機関等の遠隔自動診断技術の開発

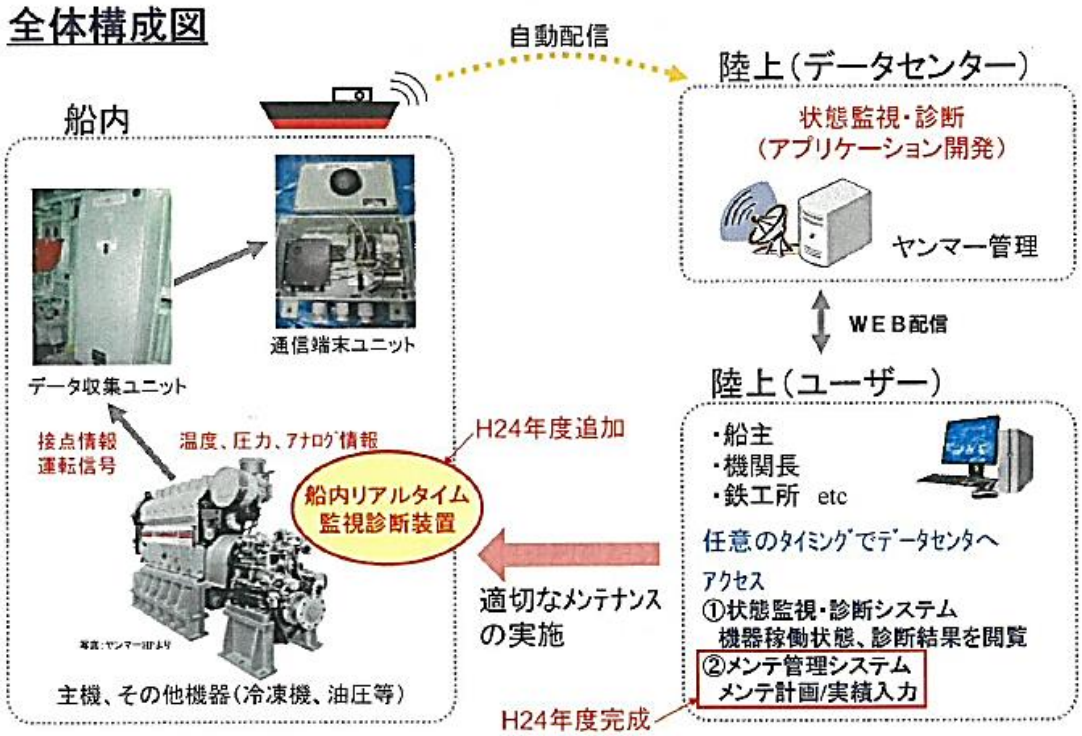
実施主体：ヤンマー株式会社、（社）海洋水産システム協会

1　技術開発の目的

主機関等の予防的・計画的なメンテナンス実施のため、
船内の機関状態を陸上でモニタリング・診断するシステムを開発することにより、
主機関等を起因とする重大事故を未然防止し、漁船の安全性を確保

2　開発技術の概要

主機関等の状態を、船陸間の通信によって**陸上でリアルタイムに把握**し、
主機関等の適切なメンテナンスを図ることのできるシステムを構築



3　開発技術の成果・普及

・機関故障による操業停止を未然に防止。

本システム導入により、約1440万円の損失防止効果

（39トン型中型まき網漁船の場合）

**・本システムは既に販売されており、
一部の沿岸漁船で簡易システムの導入が進んでいる。
（沿岸漁船では、磁気カードにより主機関等の状態を陸上に配信）**